

警報・注意報発生状況

感染性胃腸炎の警報発生状況(第46～50週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
46週	18.66	19.00	20.50	9.25	38.60	3.00	8.00	33.50
47週	22.50	19.86	27.33	11.00	44.66	6.50	12.00	38.00
48週	29.63	30.71	36.50	12.50	38.60	28.75	25.75	26.50
49週	22.78	17.43	21.83	18.25	32.20	30.00	21.50	18.00
50週	19.53	20.71	18.33	13.00	24.80	19.50	23.50	11.00

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が20人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が12人以下になるまで継続して出されます。

水痘の警報・注意報発生状況(第48～50週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
48週	2.34	2.00	1.00	0.75	3.40	7.25	1.50	0
49週	2.47	1.43	0.17	1.00	6.80	5.50	1.50	1.00
50週	3.66	1.00	0.83	1.75	9.80	6.75	4.25	2.50

：警報発生中 **：注意報発生中** 警報発生基準値：定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人以下になるまで継続して出されます。
注意報発生基準値：定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑の警報発生状況(第49～50週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
49週	0.75	0.29	0.67	0.25	0.60	2.75	0	1.50
50週	0.47	0.29	0.33	0	0.20	2.25	0	0.50

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人以下になるまで継続して出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター) 参照
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide06.html>

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (50週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (50週)	全国 (50週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	46	0	54
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 6	469	^{(*)3} 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	70	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	0	54	3,824	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	2	68	0	40
	A型肝炎	0	21	310	1	168
	オウム病	0	0	22	1	34
	デング熱	0	0	54	1	73
	マラリア	0	0	60	0	66
	レジオネラ症	0	11	488	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	8	710	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	268	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	166	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	6	104	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,257	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	82	0	81
	梅毒	0	4	598	0	555
	破傷風	0	1	113	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	74	2	65
	急性脳炎	0	1	157	2	180

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第50週(12/11～12/17) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 1例	五類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
二類感染症: 細菌性赤痢 8例	マラリア 2例	劇症型溶血性
三類感染症: 腸管出血性	つつが虫病 14例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 49例	レジオネラ症 4例	後天性免疫不全症候群 13例
四類感染症: E型肝炎 3例	レプトスピラ症 1例	ウイルス性肝炎 1例
A型肝炎 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 12例	梅毒 7例
	破傷風 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第45～50週、11/6～12/17)

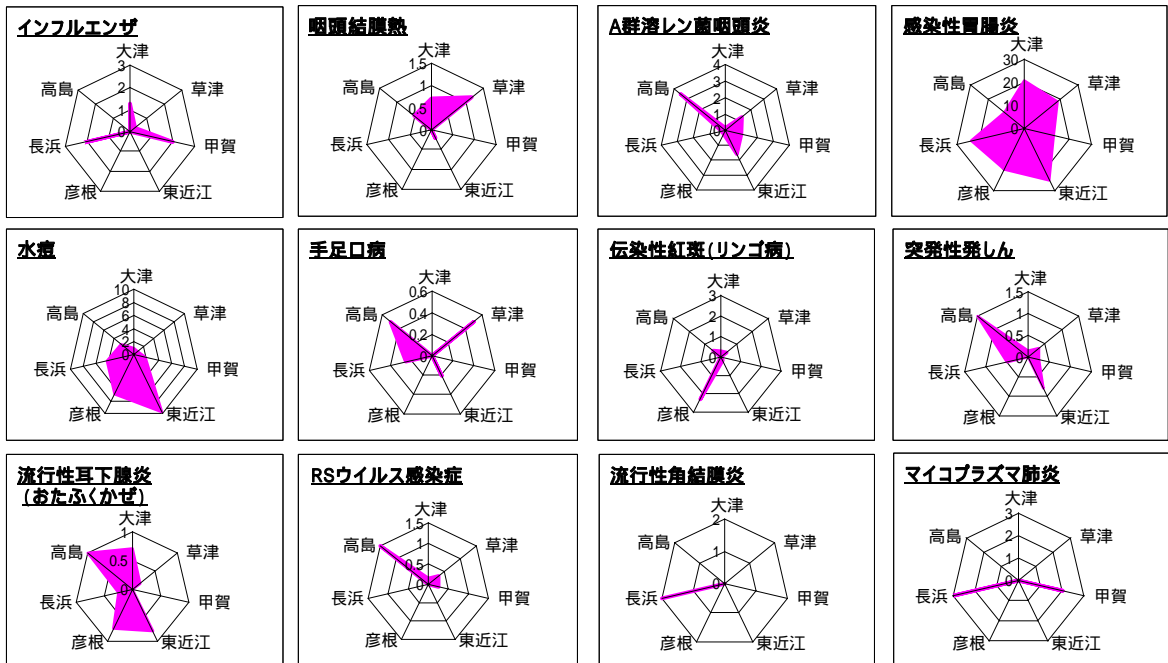
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	45週		46週		47週		48週		49週		50週	
	(11/6～)	(11/13～)	(11/20～)	(11/27～)	(12/4～)	(12/11～)	46	47	48	49	50	
インフルエンザ	0	0.08	0.06	0.09	0.25	0.87						
RSウイルス感染症	0.06	0	0.03	0.03	0.09	0.22						
咽頭結膜熱	0.59	0.16	0.09	0.13	0.16	0.44						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.53	0.66	0.50	0.78	0.94						
感染性胃腸炎	10.09	18.66	22.50	29.63	22.78	19.53						
水痘	1.03	1.28	1.75	2.34	2.47	3.66						
手足口病	0.31	0.28	0.13	0.16	0.22	0.19						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.22	0.22	0.28	0.75	0.47						
突発性発しん	0.50	0.44	0.38	0.31	0.53	0.41						
百日咳	0.03	0	0	0	0.03	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0	0	0	0.03	0	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.44	0.41	0.56	0.66	0.50						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.29	0	0.43	0	0.29						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0.14	0.14	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0.71						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第50週、12/11～12/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0.87	1.27	0.30	2.00	0	0	2.14	0			
RSウイルス感染症	0.22	0.14	0.33	0.25	0	0	0	1.50			
咽頭結膜熱	0.44	0.71	1.17	0	0.20	0	0	0.50			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	0.14	1.33	1.00	1.60	0.25	0.25	3.50			
感染性胃腸炎	19.53	20.71	18.33	13.00	24.80	19.50	23.50	11.00			
水痘	3.66	1.00	0.83	1.75	9.80	6.75	4.25	2.50			
手足口病	0.19	0	0.50	0	0.20	0	0.25	0.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.47	0.29	0.33	0	0.20	2.25	0	0.50			
突発性発しん	0.41	0.14	0.33	0.25	0.80	0	0.50	1.50			
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0			
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.71	0.17	0	0.80	0.75	0.25	1.00			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0.71	0	0	2.00	0	0	3.00	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加、■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
 0 5 10 15 20
 定点当たり患者数(人)

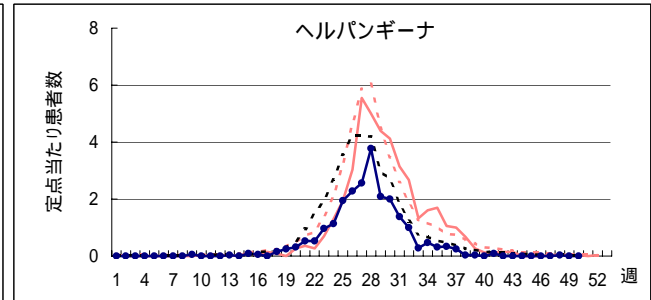
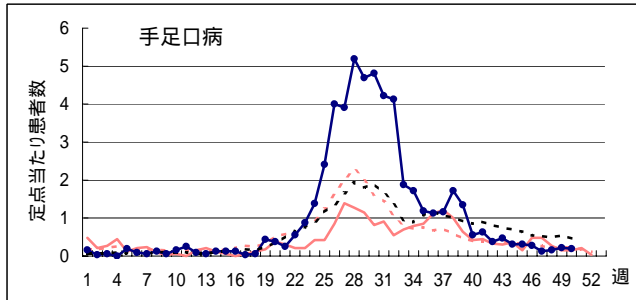
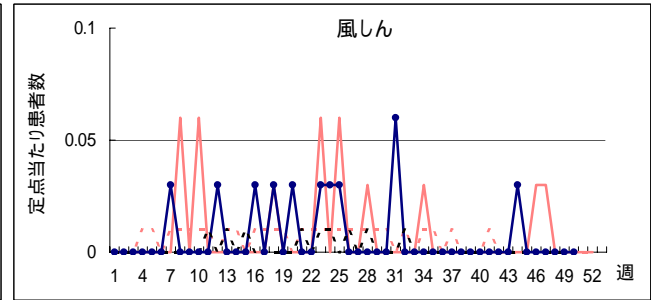
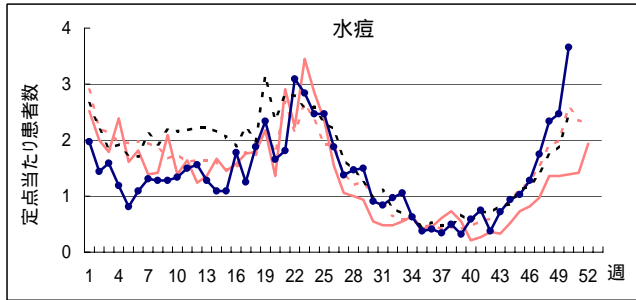
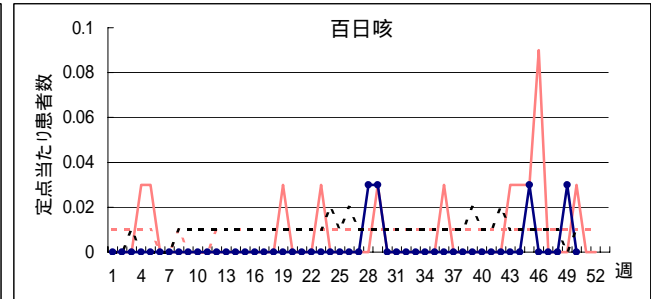
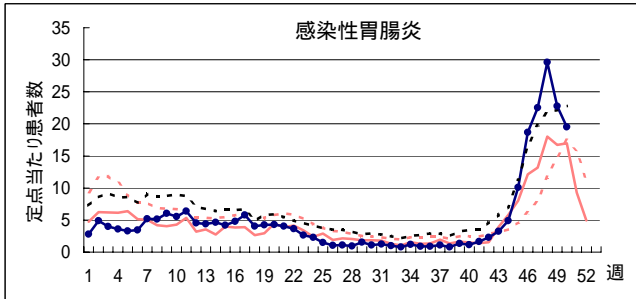
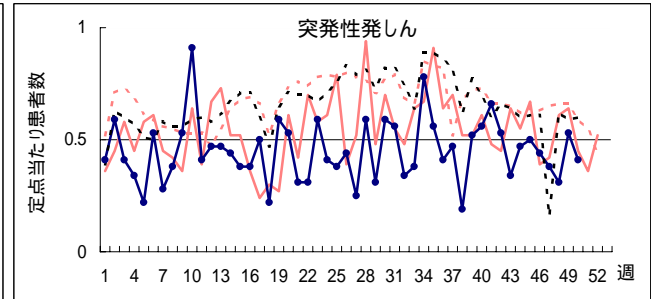
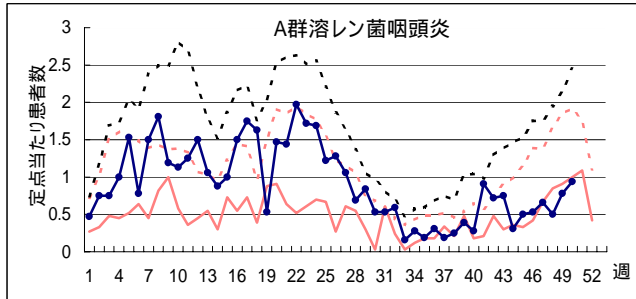
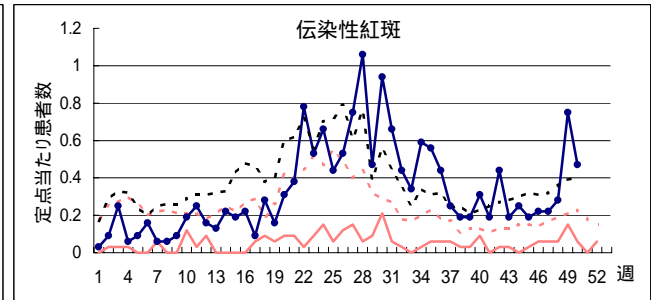
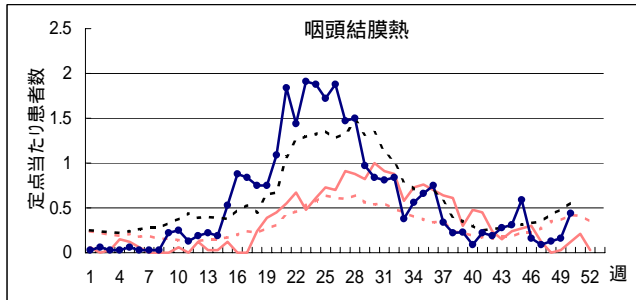
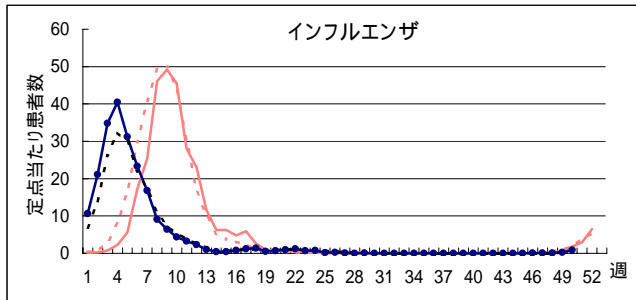
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----甲賀および長浜で先週よりかなり多くなっています。また、年齢別では10～14歳で多くなっており、全体の約45.7%を占めています。
- 咽頭結膜熱-----草津でやや多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎---- 県全体では先週より増加し、草津、東近江および高島でやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎----- 県全体では先週より減少していますが、大津および長浜では先週より増加しており今後の発生状況に十分な注意が必要です。
- 水痘----- 県全体では先週よりさらに増加し、昨年同時期よりかなり多く発生しています。特に東近江、彦根および長浜で多くなっており、流行発生警報および流行発生注意報が出ています。年齢別では1～4歳で全体の78.6%を占めています。
- 手足口病-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- 伝染性紅斑----- 県全体では先週よりかなり減少していますが、昨年同時期より多い状態が続いています。また、彦根では流行発生警報が発生しています。
- 突発性発しん----- 県全体では先週より減少していますが、昨年同時期とほぼ同様の発生状況です。
- 流行性耳下腺炎----- 県全体では先週より減少しています。
- RSウイルス感染症----- 大津、草津、甲賀および高島から報告されています。
- 流行性角結膜炎----- 長浜から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎----- 県全体では先週より増加し、甲賀および長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第50週、H18.1.2～H18.12.17)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第50週、H18.1.2～H18.12.17)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

